

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和4年3月25日

事業所名: 放課後等デイにじい

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		学習スペース、余暇活動ルーム、クールダウンルームで分かれている。	
	2 職員の配置数は適切であるか	○			
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			構造化をしながら動線を考え、定期的な見直しを実施。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		年度初めに部署目標、個別目標を立て定例会議で読み合わせ、進捗状況の確認を実施。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		評価表のみでなく面談で聞き取り実施。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○		実地指導や第三者評価機関の結果に基づき改善。	できていないところを明示する必要あり。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		今年度は年4回の部署内学習会を実施。現場で実践できる内容で行った。	社内研修及び外部研修の積極的参加。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		より具体的な支援計画を立てるため、毎日の活動・課題記録をデータに残す。行動分析表も含む。	それぞれ担当している利用者様への支援の進捗状況の把握。記録。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		自立課題・ASD・行動障がい等其々のアセスメントシートを作成。	現場指導員も使用しながら、担当利用者のアセスメントを実施していく。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		プログラムを毎月保護者に配布。	長期休みのプログラムの充実。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		メンバーにより曜日で固定する場合あり。(調理やリミック)	何らかの活動に参加できるよう柔軟に対応できる力。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		個別活動、集団活動(療育)を時間割で実施。	子どもたち主体で実施する活動プログラムの充実。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		短いスパンでアセスメントを実施し、特に個々で行う活動、学習については記録に残す。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		毎日朝礼で確認。前日の振り返りも同様。	指導員間の声掛け。(現場支援時)
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		業務日報にも記載をし、緊急性の高い案件が出た際はケース会議を実施。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか		○		ケース記録の充実。気付き。指導員のスキルの差。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		最低半年に一度のモニタリング・保護者面談。面談にはいつでも応じられる。	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○				

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20		○		プロセス管理の徹底
	21	○		今年度はコロナの影響で学校参観、教員との面談未実施。送迎時での共有	
	22	○			
	23	○		情報共有の場あり。訪問や電話でのやり取り実施。	気軽に見学や体験に来られるようなシステム作り。
	24	○		他事業所との連携については書面や電話でやり取りをしている。	
	25	○			
	26		○		支援学校に通っている児童についてはほぼないため、交流できる機会は作りたい。
	27		○	相談支援専門員が参画。	
	28	○		連絡ノートの活用。送迎時の際の伝達。懇談の実施。	
	29		○		家族支援については今後力を入れていきたい。現在は懇談のみの実施。
保護者への説明責任等	30	○			
	31	○		いつでも懇談や電話で対応できることを伝達している。	保護者によっては一人で抱え込んでいる場合があるかもしれないことを考え支援する。
	32	○		ボランティア団体との連携、協力、父母会への参加。	親の会への参加や保護者交流会の実施を検討中。
	33	○			
	34		○	定期的に通信を発行しているが、不十分などあり。	
	35	○		個人情報についての定期的にスタッフ間で共有。	
	36	○			
	37		○	コロナの影響で未実施。	

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		法人のマニュアルはあるが、デイ独自のマニュアル作成必要。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○		定期的に実施されているが38と同様デイ独自のマニュアル必要。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			定期的に開催する。
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか				現在該当者なし。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		毎日の記録＋上期下期で集約。	スピード感を持って改善する。